# Why Are We Learnig?'s ～私たちはなぜ学ぶのか？勉強する意義とは何か～

## 目的・目標：

本授業は、近畿大学附属高等学校と清教高等学校の生徒たちが、カンボジアの方との関わりを大切にしながら、「他者を知って自分を知る」経験ができるような場にする。その過程で、互いを認め合い、称賛し合うこと で自尊心を向上させることを目的とする。

日本語での「読む・書く・聞く・話す」の 4 技能はもちろんのこと、カンボジアの方とのオンライン授業は、基本的に英語が中心となる。最終成果物として 各グループごとにポスターを作成し、プレゼンテーション（ポスターセッション）をすることを目標とする。

## 身につけたい力6つのC：

今回は特に“1.Collaboration”と”2.Communication”に重点を置きたい。（下記表参照）

| 6c | 1.Collaboration | 2.Communication | 3.Content | 4.Critical Thinking | 5.Creative Innovation | 6.Confidence |
|---|---|---|---|---|---|---|
| L4 | それぞれの強みを活かし弱みを補い合う | 対話によって一貫したストーリーをつくる | 専門領域については熟知し直感が働く | 根拠に基づき熟慮して上手に疑う | 変革についての大きなビジョンをもつ | 熟慮した上で失敗にひるまずに挑戦し続ける |
| L3 | やりとりしながら進める | 対話して他者の思い・考えを理解する | コンテンツ同士をつなげて考える | いろいろな意見・立場をどれも正しいととらえる | 独自の「声」を発見する | 新しい取り組みのリスクを計算する |
| L2 | 横並びで勝手に進める | 一方通行でおしゃべりする | 広く浅く理解する | 自分の考えを絶対に正しいと信じる | 手段と目標を考える | 自分の実力を相対的に見きわめる |
| L1 | 自分自身がすべてて仕切る | 感情を剥き出しにする | 特定の状況について限定的に理解する | 見かけをそのまま信じる | とりあえず試す、やってみる | 根拠なき自信を抱く |

※By Roberta Michnick Golinkoff (Author), Kathryn Hirsh-Pasek (Author) 2016 “Becoming Brilliant”より

## 日時：

1日目｜7月14日（木）3・4限目 10:50 ～ 12:40、2日目｜7月15日（金）3・4限目 10:50 ～ 12:40

## 参加者：

清教学園高等学校｜ 55 期 441 名、学年団教員、近畿大学付属高等学校｜ 70名、引率教員
NPO法人SALASUSU｜ 関係者（カンボジア人はZoomでの参加）

## 場所：

清教高等学校（グループA・G・B・H・E・Fは教室、C・D は LCIルーム、S・H ・J は LRルーム）

| 班編成 | A | B | C | D | E | F | G | H | I | J |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 清教学園 | 41 | 40 | 43 | 43 | 46 | 46 | 45 | 45 | 45 | 46 |
| 近大付属 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 |
| 班数 | 8 | 8 | 8 | 8 | 9 | 9 | 9 | 9 | 9 | 9 |

## 持ち物：

筆記用具、情報端末（パソコン・タブレット）、英語の辞書、名札 、ポスター作成のためのマーカー

取り組み方のヒント：

カンボジアについて学んだ上、日本の高校生が抱える問題を社会課題として捉え、
同じテーマでプレゼンテーションをしたり、対話したりすることは貴重な経験になるはず。
皆さんのもっている明るさと協調性で楽しみましょう！

1. 自分で考える⇒ 自分の言葉で共有する（対話） ⇒ 周囲と共に話しあう ⇒ 全体にアウトプットする

2.「聞く」時のヒント
・姿勢→称賛するための拍手は100 %気持ちを込めて、まずは受け入れる、「Yes!And」の姿勢等
・態度→目と目の間を見る、腕組みをしない、肘をつかない、姿勢を崩さない等
・表情→リアクションする（うなづく）、朗らかな表情を保つ等

3.「話す」時のヒント
・姿勢→ジェスチャーを活用する等
・態度→目と目の間を見る、上手くいかなくてもため息はつかない等
・表情→表情は柔らかく
・話す順番→「①結論⇒②理由・根拠⇒③具体例⇒④結論」で話すとロジカルなプレゼンテーションになる、形容詞に気をつける、抽象的な表現はわかりづらい、感情移入せず具体的に等

4. 6つのCの“Collaboration”、“Communication”は、グループ活動をする中で大切なスキル！

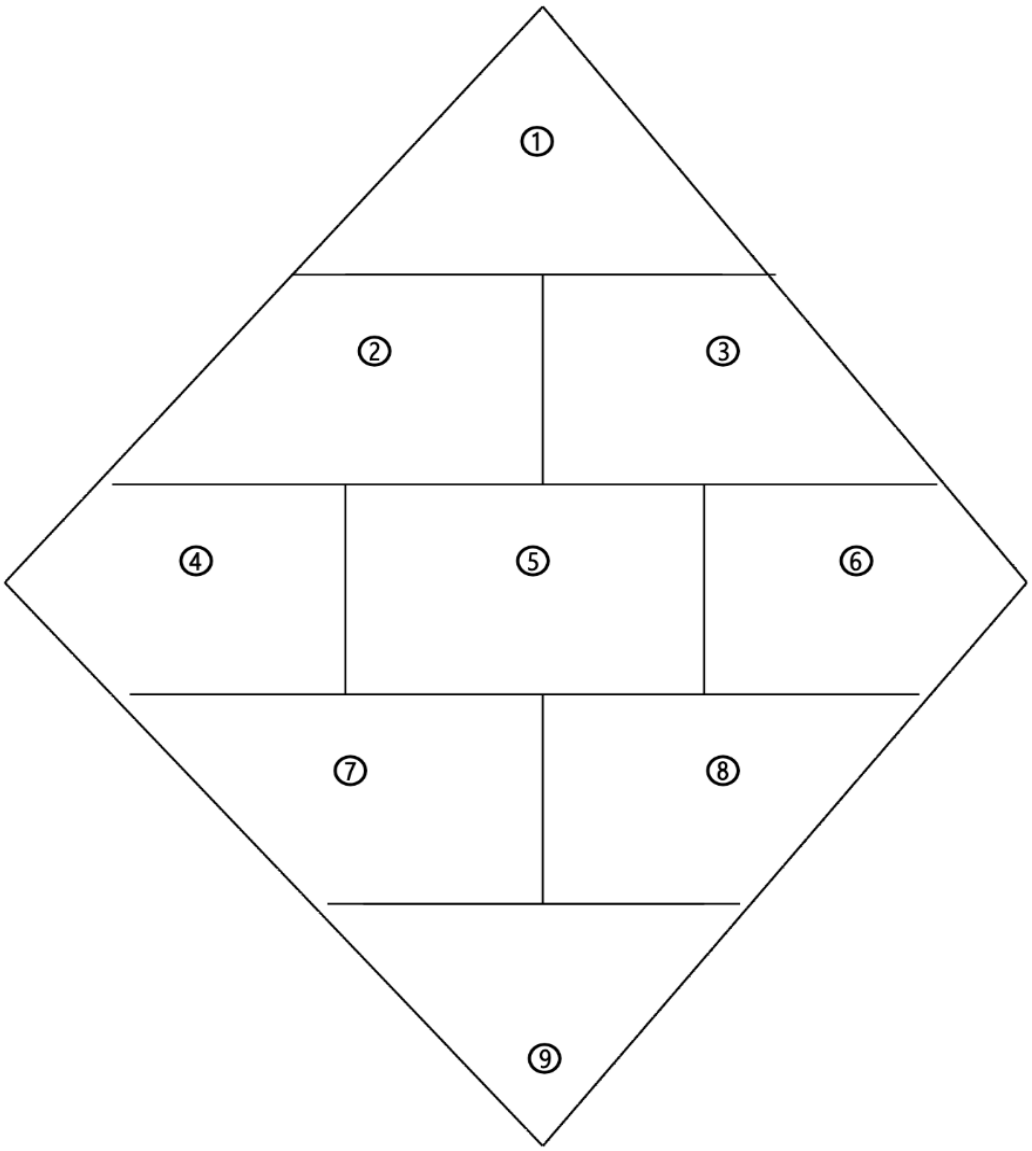
◆**1**日目｜**7**月**14**日（木）**3**・**4**限目 **10:50** ～ **12:40**（**110**分）

| 手順 | 内 容 | 時 間 |
|---|---|---|
| 0 | ＜会場準備：清教高等学校＞<br>・筆記用具を持ち、各自指定の教室へ移動する。鞄はチャックを閉めて廊下へ整頓して並べる。近畿大学附属生を迎える準備をする。 | 10分 |
| 1 | ＜オープニング＞<br>本日の目的や主旨の説明 、清教生代表挨拶 、近付生代表挨拶 | 5分 |
| 2 | ＜イントロダクション・アイスブレイク＞<br>★生徒自身で進める。（グループ内で、ファシリテーター 1 名・書記 1 名・翻訳担当 2 名・情報端末担当 2 名を決定 ）その間、教員は各教室のネットワーク環境を確認し、整える。<br>①暗記型自己紹介ワーク：<br>グループで輪になり「○○好きの名前○○です」と自己紹介をする→次の人は、先頭～自分の前者までの自己紹介も含め、同様に自己紹介をする→繰り返す<br>②協力して紙飛行機を作ろう：<br>指示は英語のみ。一人一度だけ折る。完成したら代表者が教室後方に行き、作成した紙飛行機を飛ばし距離を競う。 | 20分 |
| 3 | ＜**Presentation from Cambodia**：**Ms.Chamroeun**＞<br>・Introduction<br>・What is a Social empowerment team as a SALASUSU staff member?<br>・Why did you become Social worker?<br>・About education and work<br>・Q&A<br>※休み時間（10分） | 25分 |
| 4 | ＜英語のプレゼンテーションの振り返り・対話の時間＞<br>・Ms.Chamrouenのプレゼンテーションを内容確認する。（自身が聞き取れたこと、理解したことをグループ内で共有し合う）<br>・日本とカンボジア（社会・教育・労働・文化・衣食住）の違いを含め、Ms.Chamrouenのプレゼンテーションを通して感じたことを共有する。 | 20分 |
| 5 | ＜ワークショップ＞<br>価値観ワーク：<br>①自分の価値観に目を向ける<br>ワークシート「9 from 36Words」をダイヤモンド型に並べ替える。<br>②他者の価値観に目を向ける<br>グループ内で互いの価値観を共有する。例や自身の経験をを交えて話すこと。<br>③ワークを経て考えたことをテーマに沿って発表する（一人2分）<br>テーマ「自分と他者との違いについて」 | 25分 |
| 6 | ＜クロージング＞<br>・まとめと翌日の案内 | 5分 |

# ワークシート「9 from 36Words」

★下記の表から今の自分にとって優先順位の高い価値観を**9**つ選び、ダイヤモンドで表しましょう！

| | | | |
|---|---|---|---|
| Action \| 行動 | Adventure \| 冒険 | Ambition \| 志 | Challenge \| 挑戦 |
| Change \| 変化 | Comfortable \| 心地よさ | Communication \| 伝達 | Composure \| 冷静 |
| Contribution \| 貢献 | Cooperation \| 協力 | Courtesy \| 礼儀 | Curiosity \| 好奇心 |
| Discipline \| 規律 | Diversity \| 多様性 | Effectiveness \| 効率 | Effort \| 努力 |
| Equality \| 公平性 | Experience \| 経験 | Freedom \| 自由 | Friendship \| 友情 |
| Global \| グロ ーバル | Gratitude \| 感謝 | Honesty \| 正直 | Independent \| 独立 |
| Intelligence \| 知性 | Interesting \| おもしろい | Optimistic \| 楽観主義 | Passion \| 情熱 |
| Personality \| 個性 | Playful Mind \| 遊び心 | Privacy \| 私事 | Respect \| 尊敬 |
| Status \| 地位 | Victory \| 勝利 | Wealth \| 財産 | Wisdom \| 知恵 |

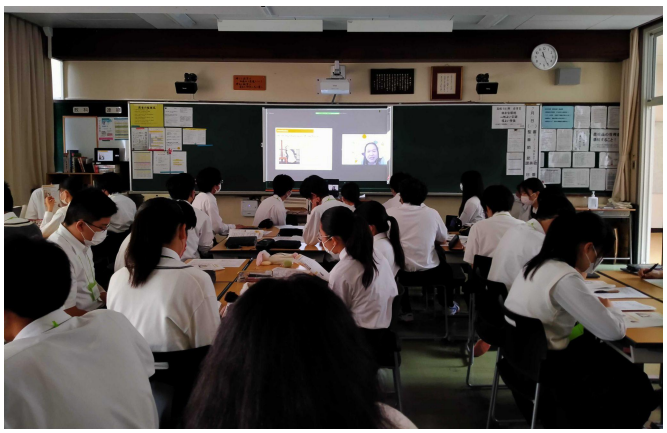


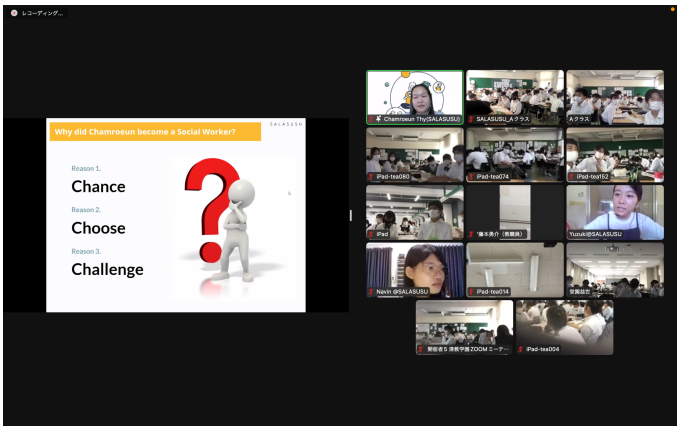
◆1日目の学びの様子

＜オープニング＞

司会進行は全て生徒が実施

＜Presentation from Cambodia＞






カンボジアと学校をオンラインでつないでいる様子、プレゼンテーションは基本的に全て英語で実施

＜ワークショップ＞

グループ活動の様子

◆**2**日目｜**7**月**15**日（金）**3**･**4**限目 **10:50** ～ **12:40**（**110**分）

| 手順 | 内 容 | 時 間 |
|---|---|---|
| 0 | ＜会場準備：清教高等学校＞<br>・筆記用具を持ち、各自指定の教室へ移動する。鞄はチャックを閉めて廊下へ整頓して並べる。近畿大学附属生を迎える準備をする。 | 10分 |
| 1 | ＜オープニング＞<br>本日の目的や主旨の説明 、清教生代表挨拶 、近付生代表挨拶 | 5分 |
| 2 | ＜ディスカッション＞<br>下記2つのテーマについてグループワークをしよう。<br>①「違う価値観をもつもの同士が学ぶ時に大切なことは？」<br>②「Why Are We Learning?s 私たちはなぜ学ぶのか？」 | 15分 |
| 3 | ＜ポスター制作＞<br>・ディスカッション内容をポスターにまとめる。<br>・発表部分の役割分担を行う。 | 30分 |
| 4 | ※休み時間（10分）<br>※ポスターセッションに向けて教室の設営 | |
| 5 | ＜ポスターセッション＞<br>プレゼンテーションの方法：<br>①クラスをプレゼンテーショングループとリスナーグループの2つに分ける<br>～前半～<br>②プレゼンテーショングループは、3分間のプレゼンに挑戦<br>★目安：発表（2分）＋質疑応答（1分）<br>③プレゼン終了後、リスナーグループは付箋にフィードバックやコメントを記入<br>プレゼンテーターグループに付箋を渡す<br>★上記の②･③を合計5回繰り返し、全グループをリスナーは回る<br>★ プレゼンテーターは毎回変える<br><br>～後半～<br>プレゼンテーショングループとリスナーグループを入れ替え、前半同様に発表 | 20分<br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br>20分 |
| 6 | ＜クロージング＞<br>・まとめ（振り返りや感想の共有）<br>・両学校より代表生徒挨拶<br>・教員からのフィードバック、コメント | 10分 |

◆**2**日目の学びの様子

＜ポスター制作＞

ディスカッションをしながらポスターにまとめる様子、他校同士の団結力が見られました

＜ポスターセッション＞

生徒自身のペースで、全員が学びに意欲的な発表の場となっていました

＜つながり＞

2日目の最後は学びの歓喜に満ちた教室に！生徒同様、先生同士のつながりの大切さを学びました